

じもとあい 地元愛

わたしはベトナムのホーチミン市に住んでいたことがあります。住む前は、ベトナムの食べ物と言え「フォー (Phở)」だと思っていました。実際、ホーチミンにはたくさんのフォーの店があって、わたしはどの店のフォーもおいしいとおもいました。ところがある日、ベトナム人の知り合いが

「ホーチミンのフォーは、本物のフォーじゃない！」

と言いました。その知り合いに聞いたところ、フォーはハノイの名物だそうです。

「ハノイ出身の人はホーチミンのフォーなんて食べない！」

と、その人は言いました (ちょっと大げさ だと思いましたが...笑)

その後、ハノイに行く機会があったので、ハノイ出身の友だちにおすすめのお店を聞いて、フォーを食べに行きました。確かに、すごくおいしかったです。すごくおいしかったのですが、わた



ハノイで食べたフォー (筆者撮影)

しにとってはホーチミンのフォーも、すごくおいしいので、正直に言うと、あ

まり^{ちが}違いがわかりませんでした。

この^{はなし}話を大阪^{おおさか}出身^{しゅっしん}の友^{とも}だちにしたところ、その友^{とも}だちは

「わかるわー。東京^{とうきょう}のうどん、よう^た食べへんもん」

(わかるわー。東京^{とうきょう}のうどんなんか、^た食べられないもの)



京都^{きょうと}で^た食べたうどん (筆者^{ひっしや}撮影^{きつえい})

と言^いいました。よく言^い
われていることですが、
東京^{とうきょう}のうどんと大阪^{おおさか}の
うどんは、汁^{しる} (スープ)
の味^{あじ}が違^{ちが}います。一般^{いっぱんてき}的
に、東京^{とうきょう}の方が少^{ほう}し^{すこ}しよ
っぱくて汁^{しる}の色^{いろ}が濃^こいで

す。大阪^{おおさか}や京^{きょうと}都^となどの関^{かん}西^{さい}地^ち方^{ほう}のうどんは、汁^{しる}の色^{いろ}がうすくて透^{とう}明^{めい}感^{かん}がありま
す。

ホーチミンのフォーも、ハノイのフォーも、東京^{とうきょう}のうどんも、大阪^{おおさか}のうどん
も、わたしにとってはすごくおいしいと思^{おも}います。そして、ホーチミンにもハノ
イ風^{ふう}のフォーのお店^{みせ}がありますし、東京^{とうきょう}にも関^{かん}西^{さい}風^{ふう}のうどんのお店^{みせ}がたくさん

あります。でも、ハノイの人は「ホーチミンのフォーは本物じゃない」と言い、
大阪の人は「東京のうどんは味がうすすぎる」と言います。

わたしは北海道出身なのですが、個人的にはどこかの町と対決しようとは思
いません。でも、食べ物だけではなく、いろいろな点で、「大阪の方が元気で明
るくていい!」「いや、大阪はうるさすぎる! 東京の方がいい!」などと対決
している友だちを見ると、地元への愛が深くて、少しくらやましいなと思います。

(880字)

(2022.2 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この
作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use
this work, please indicate the source as in the example above.